



つながる

令和5年12月6日
 特別支援教室拠点校
 江戸川区立北小岩小学校
 校長 藤島 寿晴
 特別支援教室「つながる」
 巡回指導日より No.9

日頃より、特別支援教室巡回指導にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。日暮れが早い季節となり、気温もグッと下がってよいよ2023年も終盤に差し掛かってきました。

頑張った2学期も終わりが近づき、子どもたちは様々な行事を経てひと回りもふた回りも成長できたのではないのでしょうか。冬休みに入ると、この時期にしか味わえない楽しみがたくさん待っています。

ご家庭でゆっくり過ごしていただきながら日頃頑張ったことやできたことを振り返っていただき、まとめの3学期に繋がる期間になるといいですね。



【お正月遊びって実はすごい!?!】

お正月の遊びと言われたらみなさんは何を思い浮かべますか?お正月遊びには「新たな一年が良いものになるように」という意味や願いが込められています。この行事は、この遊びは、どんな意味が込められて、なぜ行うのか由来など理由を知ること、冬休みにできる学習のひとつであると思います。

今回紹介する遊びは、使用する道具はどれも100円ショップで揃えられるものばかりなのでぜひ参考に見てみてください。

羽根つき〈用意するもの…羽子板、つくばね〉

厄を払い、女の子の健やかな成長を願う遊びで、羽根つきは相手を打ち負かすのではなく長く続けたほうが良いとされています。その1年の無病息災を願い、元気に過ごそうという大切な意味が込められています。

- ・位置や間隔、速度をすばやく正確に把握する「**空間認識能力**」
- ・手足の動きを視覚と連携させて使いこなす「**識別能力**」

この2つの力を伸ばすにはぴったりなお正月遊びだと思います。

リフティングのように1人でやる「突き羽根」と2人で協力してラリーをする「追い羽根」とルールが2種類あり、1人でも2人でも遊べるのが特徴の遊びでもあります!

福笑い〈用意するもの…お面、顔パーツ〉

目隠した状態で目や口、鼻などのパーツを並べていく、一見簡単そうに見えるお正月の遊びで、大人が本気でやっても理想通りの顔にならないことが多く、出来上がった不思議な顔を見て、笑いが起こること間違いなし!

- ・パーツを選んで並べる「**指先の感覚**」・顔の位置関係をイメージする「**空間把握能力**」と「**記憶能力**」

この2つの力が指先の柔軟性に繋がります。

指先の柔軟さがあがると…字を綺麗に書くための第一歩になります!



～口を開けたり、閉じたい～

先日、専門家相談で心理士の先生から、言葉と発音について助言をいただきました。言葉が聞き取りにくい児童は、**あまり口が開かない、または閉じることができない**ケースが多いそうです。口の周りの筋肉の発達に関係しているようですが、そうした児童は「**正しい発音ができない**」ため、「**間違った音で言葉を覚える**」ことや、**うまく言葉が伝わらない経験のために「コミュニケーションの取り方の課題」**につながっていくという問題が生じやすいのだそうです。

「口を開ける」「閉じる」などの口の形の運動は効果があるようです。「口じゃんけん」(大きく開けたり、つぶんだり、とがらせたり)やペロの運動(あっかんべーでどれだけ出せる?)などは遊びでもできそうですね。また、シャボン玉は、息を吐く力のトレーニングにもなります。なにより「口の運動」「ペロの運動」は、口腔内の衛生にも効果があるといえます。

日常的に、楽しみながら取り組むといいですね。